
スーパーグローバルコース医学生命系ユニット
Unit for Top Global Courses in Human Biosciences
2016年度 活動報告

2016年9月16日第2回企画運営幹事会

McGill 大学との Joint Degree について

①新専攻設置の認可申請

『京都大学・McGill 大学ゲノム医学国際連携専攻（仮）』設置の認可申請（2017年3月）
に向けて準備中

②交流協定の締結

Joint Degree に関する MOU の締結および 10 月の調印式（予定）に向けて準備中

③事務体制の整備・医学研究科における MTG

4月1日 設置申担当として、特定職員1名（加藤 泰久）を任用

4月1日 ユニット事務室が医学研究科 E 棟 1 階に移転

4月28日 第1回設置審関係業務打合せ

5月27日 第2回設置審関係業務打合せ

6月20日 JD に関する WG

7月13日 教務企画課との打合せ

7月19日 第3回設置審関係業務打合せ

8月5日 第4回設置審関係業務打合せ

特別招へい教授について

- ・3月1日～ 特別招へい教授3名を任用更新

Dr. Mark LATHROP (McGill University)

Dr. Guillaume BOURQUE (McGill University)

Dr. Anavaj SAKUNTABHAI (Institut Pasteur)

- ・任用予定（新規）

Dr. Stéphanie DEBETTE (University of Bordeaux)

MOOC 配信

「Introduction to Statistical Methods for Gene Mapping」Instructor: 山田 亮 教授

- ・2月25日～ 4 weeks

- ・4月11日～2017年2月28日 (Self-paced)

- ・平成28（2017）年度も開講予定

トレーニングコース、シンポジウムの開催（McGill 大学との共同開催）

- ・ 3月29日～31日 トレーニングコース
「The 4th Kyoto Course on Bioinformatics for NGS with applications in Human Genetics」
- ・ 4月1日～2日 シンポジウム
「第4回次世代シーケンサーを用いた新しいゲノム医学シンポジウム」

Partner Institutions への派遣

- 4月～ McGill University へ奈良原 舞子（～2016年3月 特定研究員）を引き続き派遣
- 6月～ Institut Pasteur へ Marina PENOVA（ゲノム医学センター・AF）を派遣

集中講義（国際高等教育院）の開講予定について

- ①【秋季】Imperial College London 教員「理論システム生物学」
- ②【冬季】Institut Pasteur・Dr. Richard PAUL「感染症疫学」

スーパーグローバルコース開講科目について

Joint Degree のみ実施予定。修了認定書を伴うコースの設定ならびに研究科横断型への提供はせず、平成30年度 Joint Degree プログラム（新専攻）開講に注力する予定。

その他

◆ Institut Pasteur とのミック斯拉ボについて

- 1月 京都－Pasteur 国際ジョイント研究ユニットを設置（京都、パリに各一ヶ所）
- 10月3日 同 発足記念式典を京都にて開催予定

◆ 任用関係

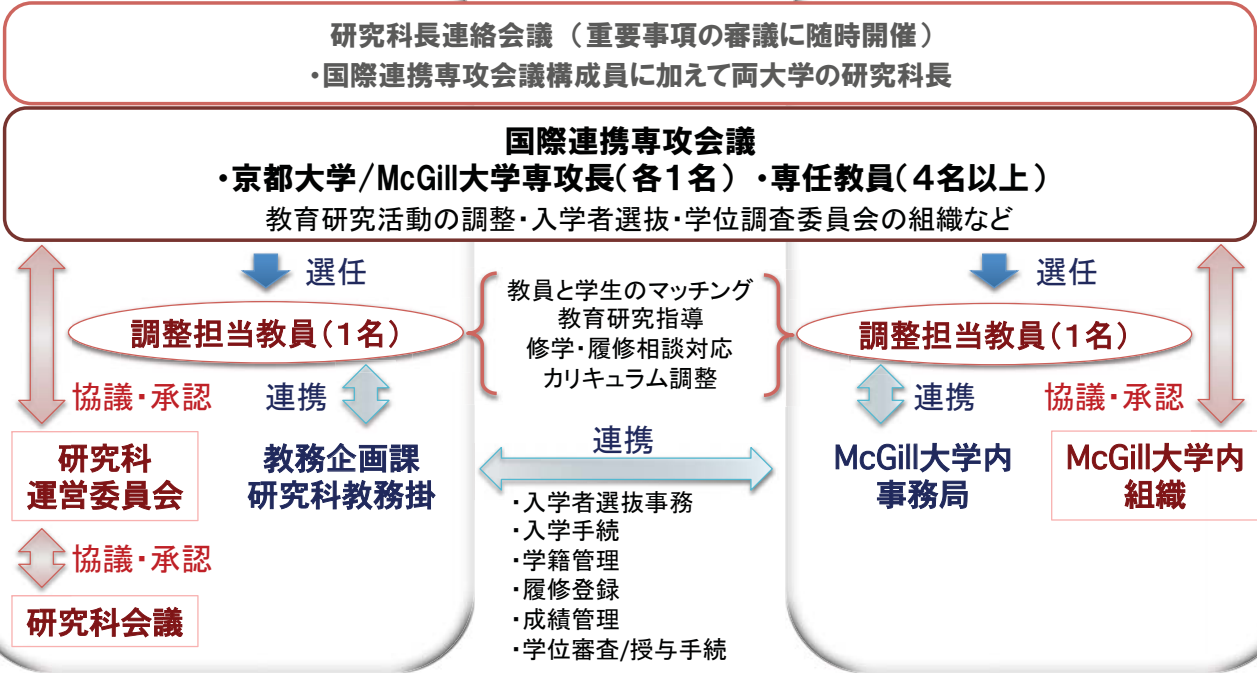
- 4月1日 特定研究員1名（中村 直俊）を任用
- 4月1日 研究員1名（堤 孝信）を任用（所属変更）
- 4月1日 技術補佐員1名（林 達也）を任用
- 5月1日 MOOC 関連業務担当として、技術補佐員1名（大浦 惇義）を任用

◆ サブユニット（現ユニット）会議

- 1月7日 平成27年度第1回サブユニット会議を開催

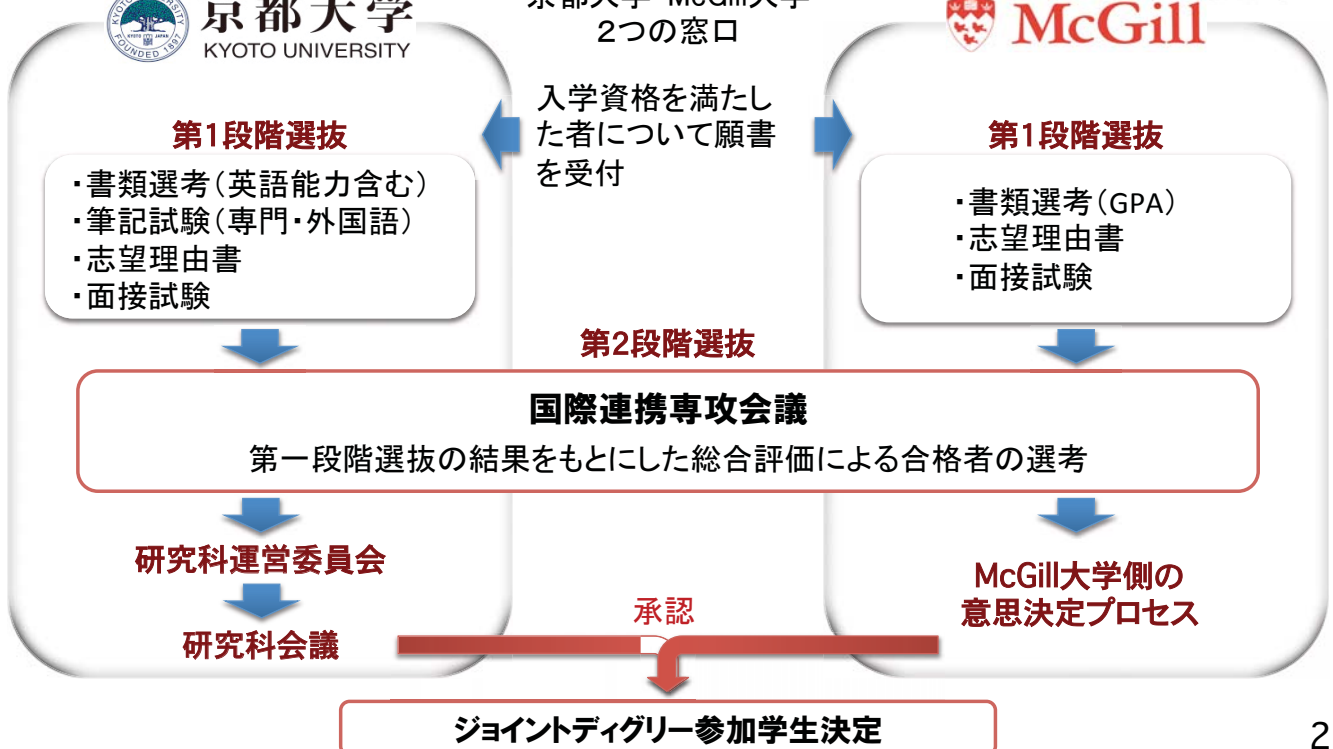
京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻

運営体制



京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻

入学者選抜方法



京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻

共同学位課程(四年制博士課程)
学生の履修スケジュール



国際的なゲノム医学研究の発展に興味をもつ学生を対象	京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻入学審査	1年次		2年次		3年次		4年次			
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
		マギル大学でコースワークおよび研究(1年間以上)									
		一般・基礎科目				学位論文執筆					
		必修科目(12単位)									
		選択必修科目(4単位以上)									
		共同開講科目、Human Geneticsは1~3年次のいずれかで履修									
		共同開講科目(5単位)			共同開講科目(5単位)			共同開講科目(5単位)			研究発表・学位合同審査 指導教員を含む両大学の審査員に 外部の審査員を加えた調査委員会
		Human genetics コースワーク (12単位)			Human genetics コースワーク (12単位)			Human genetics コースワーク (12単位)			
								学位論文執筆			
京都大学で履修および研究(1年間以上)											

共同学位記
日本語・英語併記

京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻

教育体制



京都大学
KYOTO UNIVERSITY



McGill

主要教員名	職位	主な担当科目・分野	備考	主要教員名	職位	主な担当科目・分野
松田文彦	教授	ゲノム医学	新設・必修	Mark Lathrop	Professor	Genetics
山田亮	教授	ゲノム・オミックス統計解析	新設・必修	Guillaume Burque	Associate Professor	Bioinformatics
日笠幸一郎	准教授	ゲノム解析・応用	新設・必修	Jacek Majewski	Associate Professor	Genomics
高橋めい子	講師	ゲノム医学	新設・必修	Tomi Pastinen	Associate Professor	Functional genomics
川口修治	助教	ゲノム解析・応用	新設・必修	Simon Gravel	Assistant Professor	Genetics
松田道行	教授	発生・細胞・システム生物学	既設・選択	Ioannis Ragoussis	Associate Professor	Functional genomics
生田宏一	教授	免疫・アレルギー・感染症学	既設・選択	Ken Dewar	Associate Professor	Bioinformatics
野田亮	教授	腫瘍学	既設・選択	Rob Sladek	Associate Professor	Genetics
渡邊大	教授	神経科学	既設・選択	Elin Grundberg	Assistant Professor	Genetics
稲垣暢也	教授	生活習慣病・老化・代謝医学	既設・選択	David Juncker	Professor	Bioengineering
戸口田淳也	教授	再生医療・臓器再建医学	既設・選択	Bartha Knoppers	Professor	Ethics
羽賀博典	教授	病理形態・病態医学	既設・選択	Yasser Riazalhosseini	Assistant Professor	Tumorigenesis
横出正之	教授	臨床研究	既設・選択	Tommy Nilsson	Professor	Proteomics
古川壽亮	教授	社会健康医学	既設・選択	Alexandre Montpetit	Adjunct Professor	Genetics
富樫かおり	教授	医工情報学	既設・選択	Robert Nadon	Associate Professor	Biotechnology

学位審査体制



京都大学
KYOTO UNIVERSITY



McGill

学生が論文を提出



国際連携専攻会議



選任

学位調査委員会(5名の委員から構成)
京都大学/McGill大学 各2名(2名の指導教官を含む)+1名(他大学の委員でも可)
取得単位数の確認、国際学術雑誌への掲載やゲノム医学への貢献度に基づく事前論文評価



公開審査会 (論文評価の確定)



合格

医学系研究科会議

学位授与の可否決定

McGill大学内制度



承認

ジョイントディグリー
(両大学連名による単一の学位記)